

「ギャングエイジ」と呼ばれている
小学校3・4年生(9～10歳)の子ど
もたち。活動的で、じつとしている
ことを好まず、様々なことに興味・
関心を示す。休み時間や放課後、彼
らは友だちとの遊びに至福の喜びを
見出ししている…。

人生で最も「遊びたい」時期にいる
彼らは、エネルギーを発散させて生
き生きと遊ぶ。「遊ぶことばかりで
なく勉強もしつかりやうて。」と、口
では言うものの、友達との遊び(交
流)を通して、人との関わりを学び、
たくましく成長してほしいと願って
いる。

そう願うものの、近年、遊びの輪
に入れない、友達とうまく関わられ
ない子どもが増えてきている。自らの
意志で一人であることを選ぶときも
あるが、別な場面で友達と交流でき
ているのなら心配はないのだが…。

「友だちと遊びたいな。みんなの
中に入りたい。」と心の底では思いな
がら、子どもたちの輪の中に入れな
い、人との関わり方が不器用な子ど
もがいる。「どうせ、入れてもらえ
ない。」と、はじめからあきらめモー
ド。1・2年生の頃なら、教師が「○
くんも一緒に入れてあげて…」と
遊びのリーダー格にお願いすれば、
「いいよ。」の返事が返ってくるのだ
が…。4年生くらいになると、なか

なか快諾してもらえない。無理強い
もせいで、2回くらいまでで、気
がつくと依然と変わらない状態。決
して仲間はずれになつていくわけ
はないのだが…。

本人もひとりに慣れてしまってい
るのか、何とか、遊びに加わる努力
を続けてほしいのだが。概して、兄
妹が少なく我慢が苦手な子どもにも
上記のような傾向が見られる。

価値観の多様化が急激に進行して
いる現代、集団生活の中で望ましい
人間関係づくりに苦労している子ど
もが確実に増えている。友達との遊
び(交流)を通してルールやマナーを
身に付け、人との関わり方を学んで
ほしいのだが…。

兄弟姉妹や家族が少なくなり、家
庭で縦の関係による人間関係づく
りのトレーニングする機会が減ってき
ている。人との関わりの基本を学ぶ
第一ステージの小学校を大切に考え
ていきたい。

家庭にお願いすることは、友だち
と元気に遊ぶことができるように、
生活習慣を整え、学校に送り出して
ほしい。子どもの話をゆったり聞い
て、休養と安らぎを与える場にして
ほしい。前向きな行動ができるよう
にいつも応援してほしい。



毎月第1日曜日は「家庭の日」

毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市市民会議編集委員

連載・青少年健全育成シリーズ 第246回

「友達と遊べて いますか？」

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月

⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広 告 掲 載 欄

広 告 掲 載 欄